



熊本市 感染症発生動向調査 速報



●水痘について

水痘は、水痘-带状疱疹ウイルスによる感染症で「みずぼうそう」として知られている病気です。年中みられますが、12月~7月に多い傾向があるため、これから注意が必要です。9歳以下に多くみられます。

◆どんな病気？

【症状】全身性のかゆみを伴う発疹と、38℃前後の発熱が主な症状です。発疹は、まず赤い斑点ができ（紅斑）、次第に盛り上がって（丘疹）、水ぶくれになり（水疱）、かさぶた（痂皮）になります。これらの紅斑、丘疹、水疱、痂皮のそれぞれの段階の発疹が混在しているのが特徴です。通常、軽症で終生免疫を得ることが多いですが、ウイルスは治ったあとも体の中に潜伏していて、後に「带状疱疹」として再発することがあります。

【感染経路】空気感染、飛沫感染、接触感染。すべての発疹がかさぶたになるまで感染力があります。また、感染力も強く、1人が何人に感染させるかを示す数値（基本再生産数Ro）では、インフルエンザが「(Ro) 1-2」に対し、水痘は「(Ro) 8-10」と、インフルエンザの約5倍の感染力があります。

◆かかったらどうすればいいの？

・治療は塗り薬が中心になります。重症の場合もしくは重症化の防止として、抗ウイルス剤を使用することもあります。

・熱が高いときは特に、水分をしっかりとらせ脱水にならないように気をつけましょう。発疹が出たあとも高熱が続いたり、ぐったりしているときは早めに医療機関を受診しましょう。

・水痘は、学校保健安全法により第二種の感染症に指定されており、登校基準は原則としては、すべての発疹が痂皮（かさぶた）化するまで出席停止とされています（病状により、医師が感染のおそれがないと認めたときを除く）。

◆予防法は？

・予防接種が有効です。2014（平成26）年10月1日から、水痘ワクチンが定期接種となりました。詳しくは、かかりつけの医師にご相談ください。



期 間		2020年 37週		2020年 38週	
		9/7~9/13		9/14~9/20 (最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症		0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)		2	0.13	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	0.25	4	0.25
感染性胃腸炎		20	1.25	20	1.25
水痘(みずぼうそう)		2	0.13	1	0.06
手足口病		1	0.06	2	0.13
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
突発性発しん		18	1.13	5	0.31
ヘルパンギーナ		24	1.50	6	0.38
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	2	0.13
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		3	0.60	3	0.60
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00